

Mizuho Daily Market Report

2023/5/31

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	140.26	139.79	▲0.66	+1.20
EUR	1.0689	1.0735	+0.0027	▲0.0035
AUD	0.6530	0.6517	▲0.0022	▲0.0093
SGD	1.3546	1.3505	▲0.0031	+0.0033
CNY	7.0921	7.0799	+0.0088	+0.0239
MYR	4.6147	4.6025	▲0.0020	+0.0300
THB	34.86	34.79	+0.02	+0.11
IDR	14987	14985	+15	+105
PHP	56.41	56.31	+0.18	+0.58
INR	82.75	82.72	+0.09	▲0.09

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.687%	▲11.2 bp	▲0.5 bp
日本(10年)	0.435%	▲0.6 bp	+3.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.342%	▲9.2 bp	▲12.7 bp
オーストラリア(5年)	3.450%	▲0.5 bp	+4.8 bp
シンガポール(5年)	2.943%	▲4.0 bp	+1.2 bp
中国(5年)	2.477%	▲0.5 bp	▲0.1 bp
マレーシア(5年)	3.480%	▲2.9 bp	▲3.8 bp
タイ(5年)	2.219%	▲0.8 bp	+2.0 bp
インドネシア(5年)	6.061%	▲0.8 bp	▲3.8 bp
フィリピン(5年)	5.660%	▲0.7 bp	+5.4 bp
インド(5年)	6.949%	▲1.9 bp	+3.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,042.78	▲0.2%	▲0.0%
N225(日本)	31,328.16	+0.3%	+1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,291.58	▲0.7%	▲1.2%
ASX(オーストラリア)	4,104.75	▲1.2%	▲2.9%
FTSTI(シンガポール)	3,187.56	▲0.2%	▲0.9%
SSEC(中国)	3,224.21	+0.1%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	1,396.91	▲0.6%	▲1.0%
SETI(タイ)	1,534.81	▲0.4%	▲0.0%
JKSE(インドネシア)	6,636.423	▲0.7%	▲1.5%
PSE(フィリピン)	6,510.67	▲1.3%	▲1.4%
SENSEX(インド)	62,969.13	+0.2%	+1.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	255.50	▲2.0%	▲2.2%
金	1,959.33	+0.8%	▲0.8%
原油(WTI)	69.46	▲4.4%	▲4.7%
銅	8,103.00	▲0.0%	+0.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	139.80	—	141.70
EUR/USD	1.0670	—	1.0770
AUD/USD	0.6430	—	0.6680
USD/SGD	1.3400	—	1.3600
USD/CNY	7.0500	—	7.1090
USD/MYR	4.5950	—	4.6780
USD/THB	34.30	—	34.97
USD/IDR	14900	—	15050
USD/PHP	55.95	—	56.45
USD/INR	82.40	—	82.89

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は140円台半ばの水準でオープン。実需のフォローもあってドル売りが優勢となり、一時139円台後半まで下落。ただその水準で下げ止まると、その後は特段材料はなかったように思われるものの広範なドル買いが進み、140円台後半の水準まで上昇した後海外時間へ。アジア新興国通貨は軟調地合い。中国製造業指標のさえない見通しが嫌気された。

海外時間のドル円は、財務省・金融庁・日銀の三者会合が行われ、神田財務相財務官が「必要があれば適切に対応していく考えは変わらない」との見方を示すと、本邦政府の為替介入の警戒感が強まり円買いが優勢となり、140円台を割り込み139円台後半の水準へ下落。同水準のままNYオープンとなり、序盤はじり高に推移。NY時間朝方に発表された米3月住宅関連の指標が予想より良好な結果や、米5月消費者信頼感指数が予想を上回った事を背景に、140円台前半まで上昇する。しかしその後、米金利が低下する中ドル円も連れ安となり、139円台半ばまで下落。NY時間正午前に複数の米下院共和党保守派メンバーが債務上限引き上げ案に対して反対するとのヘッドラインが伝わったが、週末にも同様の話が出ていた事から大きな値動きに繋がらず。午後は米債務上限問題を巡り、明日に議会採決を控えている事から様子見ムードとなるなか、139円台後半での推移が続きクロス。

【金利】

米債市場では金利が低下。債務上限の交渉が基本合意に達し警戒感が緩和してか、アジア時間から米金利は全般的に低下。米5月ダラス連銀製造業活動指数が市場予想対比大幅に下振れたことなどで低下幅を拡大させた。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。年初来高値を更新し141円を目前としたタイミングでの3者会合ヘッドラインにより、ドル円上昇は一服。米金利も低下傾向にあるなか、上値追いはし辛い環境と考えらる。

【本日の予定】

(日本) 4月 鉱工業生産(速) / 住宅着工戸数 / 住宅着工件数
(日本) 5月 消費者態度指数
(アジア) 1Q インド GDP / GVA
(アジア) 3月 インド 財政赤字
(アジア) 4月 インド インフラ産業8業種
(アジア) 4月 タイ 国際収支:経常収支
(アジア) 4月 タイ 設備稼働率指数 / 製造業生産指数
(アジア) 4月 豪 CPI
(アジア) 5月 中国 製造業PMI / 非製造業PMI
(アジア) インド 年間GDP予想
(アジア) タイ 金融政策会合
(欧州) 5月 独 CPI(速)
(欧州) 5月 独 失業者数 / 失業保険申請率
(欧州) 5月 英 ロイス景気指数
(欧州) 独 国債入札(7Y)
(米国) 4月 JOLT求人
(米国) 5月 MNIシカゴPMI
(米国) 5月 ダラス連銀サービス業活動
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) コリス・ホストン連銀総裁、ホウマンFRB理事講演
(米国) ハーカー・ファイデルフィア連銀総裁講演
(米国) ベージュブック

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。